



醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより
令和6年11月6日 No.12
文責 校長 花輪 忠康

【教育目標】よく考えて学ぶ子ども(知) 親切で思いやりのある子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)
合言葉「こつこつ とことん あきらめない」(継続・徹底・根気)

学習発表会「一人一人が主役！」

10月19日(土)、学習発表会が開催されました。子どもたちは、緊張感をもち、一人一人が自分の役を精一杯、生き生きと表現していました。今年のスローガンは、「最高の思い出を作ろう！学習発表会！！」です。学習発表会は一人一人が「主役」。みんなで心をつなげてまとめ上げると、すばらしい発表となりました。子どもたちの能力や個性が光る素晴らしい学習発表会でした。



開会の言葉(1年)



器楽部の演奏「星メドレー」



桑折町の魅力の紹介(4年)



劇：おむすびころりん(1年)



群舞・ダンス：ピースパワー(2年)



広島学習発表(6年)



理科・社会だよ！全員集合(3年)



英語劇：竹取物語(5年)



劇：まぬけ村物語(6年)

持久走記録会

10月29日(火)、31日(木)、持久走記録会が行われました。秋晴れのもと、子どもたちは自分の目標をめざして走りました。

持久走は、自分の記録の更新を目指し、長く走ることも大事ですが、体力や心力(メンタル)を鍛えることも大事です。子どもたちは、少しでも長く走り、自分の気持ちに打ち勝つことができました。

保護者や地域の皆様のご声援、ありがとうございました！



臨時PTA保護者会

10月17日（木）、臨時のPTA保護者会を開催いたしました。夕方のご多用の中、多くの皆様にご参会いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様からご指摘いただきましたことを真摯に受け止め、いじめの再発防止ならびにいじめの根絶に向けて職員一同、努めて参ります。大変申し訳ありませんでした。質疑応答の内容につきましては、以下のとおりご報告させていただきます。

- いじめの被害児童や保護者、ご家族の皆さんは、今回のいじめ重大事案で大変つらい思いをし、生活に悩んでいます。学校は、被害者側の心の痛みに寄り添い、いじめが学校で二度と起こらないよう努めて参ります。
- 加害児童には「いじめしてはいけない」「繰り返してはいけない」ということを指導して参ります。加害児童がいじめをしてしまったことを重く受け止め、反省し、心に響くよう指導に努めて参ります。
- 加害児童は校長室で学習し、成長支援の居場所としてお預かりしています。問題行動に悩む児童の居場所としても開放しています。校長や教頭で対応しています。
- いじめ調査「先生への手紙」は、声に出せない児童のために定期的に行っています。子どもと担任との信頼関係を築き、教育相談を通していじめや悩みの早期発見に努めていきます。
- いじめが発生した場合には、その日のうちに、子どもたちの事実確認をしっかりと行い、保護者の方に連絡をいたします。今回の学校側の不手際を反省し、対応の在り方や教育の在り方を振り返り、改善して参ります。
- 加害児童には、オンライン授業ではなく、校長室で対面で指導しています。過ちを二度と繰り返さないよう、心の機微を捉え、心の交流を図りながら指導しています。
- 子どもたちがトラブルを起こさないよう休み時間なども見守りをしています。人数の限られている職員ですが、それぞれの場所で目を配り、声をかけます。子どものサインに気づき、子どもの変化を察することができるよう努めます。
- 学校内で起こったトラブルの解決が表面的な指導で終わらないよう、被害児童の立場や心の悩みに寄り添った指導をしていきます。被害児童・加害児童の双方の言い分をじっくりと聞き、事実確認を行っていきます。
- 明日（10/18）に全校集会を開き、いじめ防止について講話をします。子どもたちに具体的にどのようなことや言葉が、いじめに当たるのか話をします。学習道具での刃物は、学校で一括管理しています。はさみなどの学習道具の正しい取り扱いについては、明日の全校集会で話します。いじめの二次被害などについても話をします。
- 今回の集会の資料の配付は、個人情報保護に基づき差し控させていただきます。学校がいじめ対策につきましては、学校のホームページの「いじめ防止基本方針」や学校通信（本紙）をご覧ください。
- いじめについての学校の窓口は、担任・教頭も相談を受け付けています。早めのご連絡をお願いいたします。また、いじめ相談に関するお知らせは、人権擁護団体から配付されるお知らせの相談窓口・相談ダイヤルをご活用ください。

全校集会「いじめのない学校にするために」

10月18日（金）の1校時、全校集会を開催しました。講話は「いじめのない学校にするために」です。校長より、子どもたちに向けて、以下のように話をしました。一部お知らせいたします。

「いじめ」は決して行ってはいけません。
自分がしたこと、自分が言った言葉によって、友だちや周りの人が、心や体に「苦しさ」や「いたみ」を感じたら、それは「いじめ」です。いじめを受けた人のつらさや苦しさは、耐えられるものではありません。一生忘れられない、とても嫌なこととして、いつまでも心に残り、消え去ることはありません。（中略）
学校はいじめを絶対許しません。先生がいじめた人も、いじめられた人にも話を聞きます。本当のことが分かるまで、じっくり話を聞きます。家の人を呼んで、最後まで話を聞きます。（中略）
学校は、安全・安心なところです。楽しく学ぶ場所です。皆さんの学校がいじめのない学校になるよう、先生方はがんばります。皆さんも一緒にがんばりましょう。
いじめは、絶対だめです！



学校と家庭が連携を深め、いじめの根絶に向けて取り組みます。ご協力をよろしくお願いいたします。